



Hiroshima DSSS
安全運転支援システム



道路とクルマが通信で連携する新しい

～ぶつからないための運転支援システム～

日時：2008年2月26日（火）～28日（木）

展示会場：紙屋町シャレオ 中央広場

（広島市中区基町地下街100号）

社団法人新交通管理システム（UTMS）協会では、政府のIT新改革戦略のもと、光ビコンやDSRCを用いて安全運転支援に寄与する新しい情報提供システム（DSSS）の研究開発を行っていますが、この度警察庁・広島県警察本部・広島地区ITS公道実証実験連絡協議会の協力を得て、広島県DSSSの公道実験をスタートしました。

実験では、道路インフラ（車両検知センサと通信設備）と車載器を使った画像や音声による安全運転支援に寄与する新しい情報提供（信号待ち車両への追突防止支援システム、右折時衝突防止支援システム、出会い頭衝突防止支援システム、渋滞末尾追突防止支援システム）などの実験を行い、システムの有効性等を検証します。

この検証の一環として市民の皆様にも実際のシステムを体験して頂く機会を設けました。会場ではパネルによる説明やインフラ機器、車載器の実物展示を行います。さらに、テスト車に同乗して頂き、ぶつからないための安全運転支援システムを体験していただけます。

この機会に是非ふるってご参加ください。

体験乗車参加者募集

要項

募集定員：一般市民50名（先着順）

UTMS協会会員会社の方及び関係団体の方については、別途案内しておりますので、そちらで申し込み下さい。

お申込み：応募項目を記入の上、
下記メ-ル宛にお申込みください。
E-mail：demohiroshima@teng.utms.or.jp

応募項目：希望日（午前、午後の別）
氏名
職業
連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

応募締切日：2月1日（金）

当選者の通知：詳細のご案内をお送りします。